

地域のできごと

R5.6

須高果樹セミナー・アスパラセミナーが開始しました

令和5年度の須高果樹セミナーとアスパラガスセミナーが、J Aながの須高営農センターとの共催により4月からスタートしました。

果樹セミナーの受講生は50名、須高3市町村から、定年帰農、新規就農、里親研修生の方など幅広い年代の方が参加されています。開講式と第1回講座は4月12日、ぶどう・りんごの基礎知識と農薬使用について講義を行いました。第2回は4月26日、J A共選所の駐車場にて農業機械の扱い方と農作業安全、第3回は5月9日、現地ほ場にてりんごの摘果作業の実習を行いました。生育が前進しているため、予定より早い日程となっていますが、今後ぶどうの房作り、りんごの着色管理、土づくりなど試験場視察を含め年間11回の開催を予定しています。

アスパラガスセミナーは、高山村と須坂市の4名の受講生が参加しています。開講式と第1回講座は4月20日に基礎知識と土づくりの講義がありました。5月からは先進農家のほ場を見学しながら年間5回の開催を予定しています。須高はアスパラガス専業の方は少ないですが、ぶどうとの複合経営にうまく取り入れている先輩方もおり、セミナー受講後に早速苗購入して始める方もいて、底堅い品目として期待しています。

いずれのセミナーもJ A技術員、農業農村支援センター職員が現場で体感することをモットーにアドバイスしますので、受講生の皆さんの納得と技術習得につながることを期待しています。



(地域第三係 田中)